

電波時計について

電波時計とは、標準電波を受信して、自動で時刻を修正する機能を持った時計です。電波を受信できない場合は、内蔵クォーツの精度で計時します。

標準電波について

日本標準時の時刻情報をのせた標準電波は、2015年4月現在、情報通信研究機構によって運用されています。標準電波の時刻情報はセシウム原子時計により、およそ10万年に1秒の誤差という精度を保っています。標準電波送信所は福島県と九州の2か所にあり、福島局は40kHz、九州局は60kHzの周波数で標準電波を送信しています。各送信所からの受信範囲の目安は、おおむね半径1000kmとされています。



●標準電波は、毎時15分と45分からの各1分間はコールサインの送信を行うために一部時刻情報の送信を中断します。また、送信所の設備点検や落雷などの影響により停波（送信停止）する場合があります。停波に関する情報や、標準電波についての詳しい情報は「情報通信研究機構」のホームページ内の「日本標準時グループ」を参照してください。

情報通信研究機構 ホームページアドレス <http://jiy.nict.go.jp>

日本国外でのご使用について

本製品は、日本の標準電波以外は受信できません。海外で使用了場合、ご使用になる場所の条件によっては、日本の標準電波を受信したり、ノイズによって誤った時刻を表示する場合があります。あらかじめご了承ください。

使用場所について

電波時計はラジオと同じように電波を受信して機能します。下記のような条件では電波受信が困難ですので、このような場所を避けて使用してください。

- ◆鉄筋、鉄骨の建物の中や地下（ただし、窓際は比較的受信しやすくなります）
- ◆山、ビルなどの電波をさえぎるものの近く
- ◆高圧送電線、ラジオやテレビの送信所の近く
- ◆自動車、電車、飛行機などの中（特に移動中は電波障害が起きやすくなります）
- ◆空港、交通量の多い道路の近くや、工事現場など電波障害の起きる場所
- ◆テレビ、パソコン、ファックスなどの家電機器や、携帯電話などの通信機器、蛍光灯など照明
- ◆金属面（床や壁）に接して設置した場合

※電波障害などにより誤った電波を受信し、時刻を誤表示する場合があります。このような場合は、リセット操作をして深夜の時間帯や使用する場所を変更してご使用ください。

こんな症状のときには・・・

●針がぐるぐる回る

- 電池を入れた直後の電波の受信の準備中
→そのままお待ちください。
早回りしている針は、12時の位置で一旦停止します。
電波を受信すると、自動的に時・分・秒針を現在時刻に合わせます。
※その間ボタン操作はしないでください。
- 時刻修正中
→そのままお待ちください。
電波受信に成功した場合、自動的に時・分・秒針を現在時刻に合わせます。
電波受信に失敗した場合、通常の進針を始めますが、現在時刻ではありません。
- 電池容量が少ない時
→新しい電池（単3形アルカリ乾電池）と交換してください。

●秒針が止まっている

- 夜間秒針停止中
→本製品は、夜間の秒針のコチコチ音が気にならないように、内蔵プログラムにより、午後10時00分から午前6時00分までの間、秒針は12時の位置で停止します。
- 手動時刻設定に、午前／午後を間違えて設定したとき
→リセット操作をしてください。
本取扱説明書の【リセット操作について】を参照してください。
- 秒針位置の自動補正中
→そのままお待ちください。
本製品は、秒針位置の誤差を自動で修正します。

故障かな？と思った時に

●製品が正常に作動していないときは、修理を依頼する前に下記を参考にお確かめください。

症状	確認事項	直し方
時計が動かない	電池が入っていない、または正しい向きで入っていない	電池の＋の向きを確かめて、指定の新しい電池を入れてください。
	電池が古い	新しい電池に交換してください。
	電池端子や接片が汚れている	電池端子や接片の汚れを取り除いてください。
時計が止まる、または遅れる	電池量が少なくなっている	新しい電池に交換してください。
	電波障害	電池を一旦電池ホルダから取り外してください。 (本書「リセット操作について」参照)
時・分・秒針が早回りした後、動かない	電波の受信中	そのまま12分程お待ちください。 その間ボタン操作はしないでください。 (本書「ご使用方法②」参照)
	電池量が少なくなっている	新しい電池に交換してください。

新しい電池と交換する場合は、電池の使用推奨期限をご確認のうえ使用してください。電池交換の際は電池を外したあと、数分たってから新しい電池をセットしてください。（連続の電池交換は、誤動作及びムーブメント破損の原因となる場合があります。）

保証書

●本保証書は、本書に明示した期間・条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。したがって、この保証書によってお客様の法律上の権利を制限するものではありません。

●保証期間はお買い上げより1年間です。

商 品 名	木目調電波掛け時計
品 番	MC-512
保 証 期 間	ご購入より1年間
お買い上げ年月日	年 月 日
お 客 様	お名前（フリガナ）
	ご住所
販 売 店	電話番号
	電話番号

□品質には万全を期しておりますが、万一不都合な点がございましたら、当社へお問い合わせください。
□商品改良のため、仕様・外観は予告なしに変更することがあります。

製造番号

MADE IN CHINA

1. 保証期間内でも次の場合には有料修理となります。
(イ) お取り扱い上の不注意・天災・火災・公害・異常電圧・指定外の使用電圧による故障、破損及び部品の当然の消耗などの場合。
(ロ) ご自分での不当な修理・調整・分解・改造などをされたもの及び取扱説明書、本体表示などの禁止事項での使用による故障や破損。
(ハ) お買い上げ後の輸送、移動、落下などによる故障及び破損。
(ニ) 本書にお買い上げ年月日、お客様名、販売店の記入の無い場合あるいは字句を書き換えられた場合。
(ホ) 本書のご提示がない場合。
2. 本書は日本国内においてのみ有効です。
This warranty is valid only Japan.
3. 本書は盗難・火災などの不可抗力以外で紛失された場合は、再発行いたしませんので大切に保管してください。

●保証書にご記入いただいた個人情報について

※ご記入いただいたお客様の個人情報は製品の修理・交換にかかわる作業にのみ使用させていただきます。
※修理・交換以外の業務や第三者に提供することはございません。

■輸入販売元 **Tamahashi** co.,Ltd.
株式会社 タマハシ

〒959-1241 新潟県燕市小高4549-6
TEL0256-63-9545 FAX0256-66-2252
URL <http://www.smile-king.co.jp>
E-mail tamahashi@smile-king.co.jp

木目調電波掛け時計

要保管

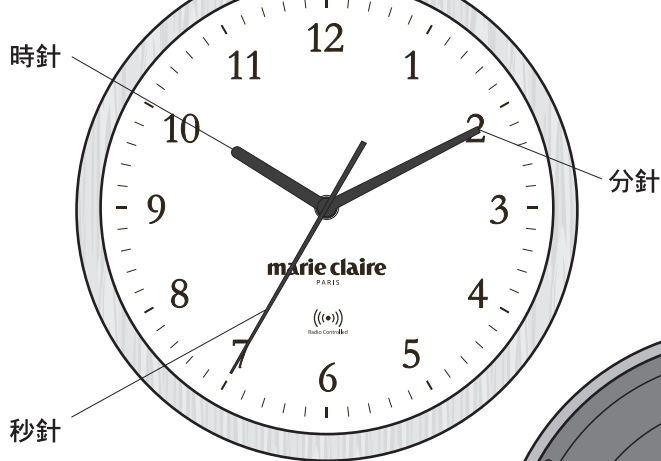
品番 MC-512

取扱説明書

各 部 の 名 称

※イラストはすべてイメージです。
商品により仕様形状が異なります。

〈 表面 〉

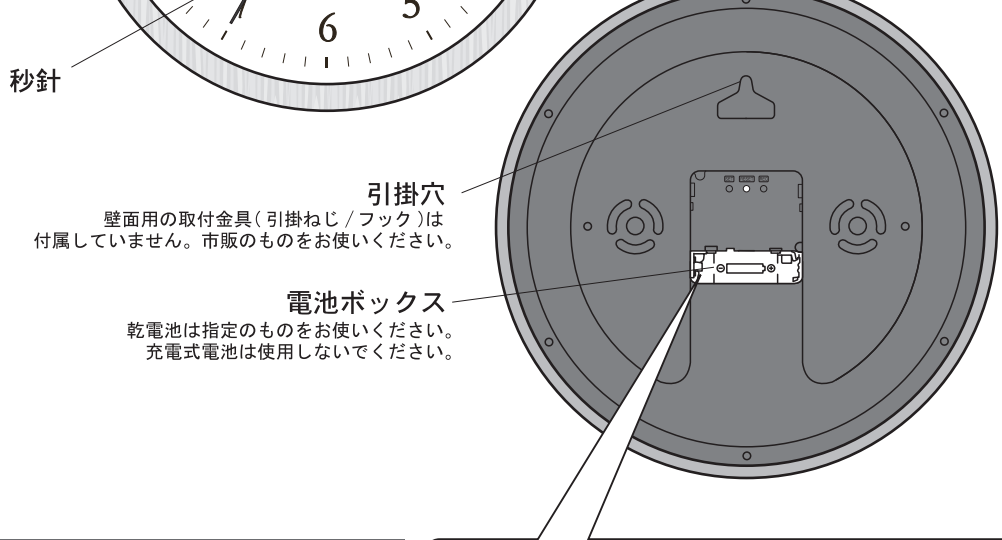


アルカリ
単3形 乾電池 ×1個使用

・充電式電池は使用できません。
・付属の電池は、工場出荷時の検品用のもので、寿命が短い場合があります。

本製品は防水仕様ではありません

〈 裏面 〉



引掛穴

壁面用の取付金具（引掛ねじ／フック）は付属していません。市販のものをお使いください。

電池ボックス

乾電池は指定のものをお使いください。
充電式電池は使用しないでください。

仕様

表 示 内 容 ／アナログ：時・分・秒（3針）
時 間 精 度 ／平均月差 ±30秒以内（常温で使用）
（電波時計による時刻修正を行わない場合）
使用温度範囲／0℃～40℃
使 用 電 池 ／単3アルカリ乾電池 ×1本
電 池 寿 命 ／約1年

指針（針の表示）誤差について
アナログ時計の特性上、指針誤差が生じる場合があります。
秒針：±1秒以内、分針・時針：±3度以内

①SET ボタン

電波を受信できないときなど、手動で時刻を合わせるときに使用します。

②RESET ボタン

リセットするとき 사용합니다。

③REC ボタン

強制受信するとき 사용합니다。

安全上の注意

必ずお守りください。

- ご使用の前にこの「安全上の注意」をよくお読みになり、正しくお使いください。
- ここに示した注意事項は、製品を正しくお使いいただき、お使いになる人や他の人への危険や損害を防止するためのものです。また、危害や損害の大きさと切迫の程度を示すために、誤った取扱いをすると生じることが想定される内容を「警告」「注意」に区分しています。いずれも安全に関する重要な内容ですので、必ず守ってください。

警告	この表示の欄は、「死亡または重傷などを負う可能性が想定される」内容です。	注意	この表示の欄は、「傷害を負う可能性または物的損害の発生する可能性が想定される」内容です。
-----------	--------------------------------------	-----------	--

※物的損害とは、家屋・家財・家畜・ペットにかかわる拡大損害を示します。

禁止図記号	指示図記号
	
この絵表示は、してはいけない「禁止」内容です。	この絵表示は、必ず実行していただく「指示」内容です。

警告

	電池の(+)と(−)を逆にして使用しないでください。 ※液漏れ、発熱、破裂のおそれがあります。		古い電池を使用しないでください。また、指定の電池以外のものを使用しないでください。 ※液漏れ、発熱、破裂のおそれがあります。
	使い切った電池は機器から取り出してください。 ※そのまま放置すると液漏れなどにより機器を破損させるおそれがあります。		取り出した電池は、乳幼児の手の届かない所に置いてください。万一、電池を飲み込んだ場合は、すぐに医師に相談してください。
	電池内部から漏れ出た液には直接触れないでください。 (1) 目に入ったときは、失明など障害のおそれがありますのでこすらずにすぐに水道水などの多量のきれいな水で洗い流し、すぐに医師の治療を受けてください。 (2) 電池の液が皮膚や衣類に付着した場合には、すぐに水道水などのきれいな水で洗い流してください。 (3) 電池の液を舐めた場合には、すぐにうがいをして医師に相談してください。		電池を過圧して変形させないでください。また、電池を落下させたり、投げつけたりして強い衝撃を与えないでください。
	電池端子に直接はんだ付けしないでください。 ※液漏れ、発熱、破裂のおそれがあります。		分解・改造しない。 ※機器が故障したり、金属物が入ると、やけどや火災の原因になります。 ※内部の点検や修理は問い合わせ先までご連絡ください。
	製品が入っていた袋はお子様がかぶって遊ばないよう、手の届かない所に保管または破棄してください。 ※窒息の危険があります。		電池を加熱、火の中に入れるなどしないでください。過度の加熱や火の中に入れると液漏れ、破裂のおそれがあります。

注意

	電池を加熱、火の中に入れるなどしないでください。過度の加熱や火の中に入れると液漏れ、破裂のおそれがあります。		本製品は防水仕様ではありませんので、雨や水のかかる場所、浴室などの湿気の多い場所では使用しないでください。 ※火災や故障の原因になります。
	電池を水で濡らさないでください。 ※発熱やサビを発生させるおそれがあります。		本品を不安定な場所に置いたり、不確実な掛け方をしないでください。
	使い切った電池を捨てる場合、自治体の条例などの定めがある場合には、その条例に従って廃棄してください。		電池を保管する場合は、テープなどで端子部分を絶縁してください。 ※他の電池や金属製のものと混ぜて保管すると液漏れ、発熱、破裂などのおそれがあります。
	異常に温度が高くなるところに置かない。 ※機器表面や部品が劣化するほか、火災の原因になることがあります。 ※夏の閉め切った自動車内や直射日光のあたるところ、ストーブの近くでは特にご注意ください。		異常な臭いがしたり、異常に発熱した時は、直ちに使用を中止してください。 ※そのまま使用すると火災や感電のおそれがあります。

本製品は日本標準電波を受信して、自動で時刻を修正する機能を持った電波時計です。操作の手順や動作などが一般の時計製品とは異なります。本取扱説明書の「ご使用方法」に従って、正しい操作をしていただきますようお願い申し上げます。本書をお手元に保管してください。

ご使用方法

注意点	電波受信中（受信のための時分秒針の運針中）は手動による時刻設定はできません。必ず通常の運針中に操作をしてください。誤動作の原因となります。
------------	---

①電池を入れる

- 指定の電池を電池ボックスに入れてください。
- 電池ボックスに表示されている乾電池の向きに従って、単3乾電池を1本セットしてください。
- 充電電池は使用しないでください。
- 乾電池は＋と－を間違えないように入れてください。

- ①SETボタン
- ②RESETボタン
- ③RECボタン



②初期電波受信を開始

- 電池を入れると電波受信状態となり、時・分・秒針が早回りをして、12時の位置で一旦停止します。※電波受信中(15～20分間)は、針が止まったままになりますが、故障ではありません。電波受信の結果がわかるまで、そのままお待ちください。
- ※針が停止中に①SETボタン、または③RECボタンを5秒以上押し続けると受信を終了し、針は12時00分00秒より通常の運針を始めます。
- 電波受信に成功した場合、自動的に時・分・秒針を現在時刻に合わせます。
- 電波受信に失敗した場合、時刻を修正しないで、針は12時00分00秒より、通常の運針を始めます。→下記【電波受信ができなかった場合は…】を参照してください。

③時計のかけ方

- 取付け面の材質が、丈夫な壁面や柱になっているかを確認してください。
- 壁面用の取付金具（引掛ねじ／フック）は大きさが合うものを選んでください。※取付金具にゆるみがないか十分に確認してください。
- ※取付金具には時計が垂直になるように取付けてください。
- ※振動がある場所や不安定な場所には取り付けしないでください。
- 石膏ボードに取付ける場合は、専用の取付金具（市販のもの）を必ず使用してください。
- ※かけ方が不適切な場合、時計が落下する危険があります。
- ※**両面テープや吸盤での取付はしない**でください。落下する危険があります。

電波受信ができなかった場合は…

①一昼夜そのままにして様子を見る

- 夜間は比較的電波の状況が良くなりますので、受信する可能性が高くなります。※初期受信が出来なかった場合は、一日最多14回まで自動で受信を開始します。
- ※電波を受信できない場合は、時計内部で計測している時間で次の自動受信時間までの通常の運針を始めます。

②設置場所を変える

- 設置場所を変えて、再度、受信をさせてください。
- ※設置場所を変える場合は、本取扱説明書【電波時計について】を参照してください。

③再度受信をさせる

- 通常の運針が始まった後に、③RECボタンを5秒間押ししてください。時・分・秒針が早回りをして12時の位置で停止し、再度4～12分間電波受信状態となります。
- ※針が停止中に①SETボタン、または③RECボタンを5秒以上押し続けると受信を終了し、通常の運針を始めます。
- 電波受信に成功した場合、自動的に時・分・秒針を現在時刻に合わせます。
- 電波受信に失敗した場合、通常の運針を始めますが、現在時刻ではありません。

④手動で時刻を設定する

- 通常運針時に①SETボタンを5秒以上押し続けると、秒針が早回りをして12時の位置で停止し、手動で時刻が設定できる状態になります。
- (秒針が停止中)に①SETボタンを押し続けると分針が進み、放すと止まります。時報サービスや、テレビ・ラジオの時報を目安に確認し、午前／午後に注意して時刻の設定をしてください。

- ※お使い初めの電波受信中の時・分・秒針は、正午(12:00)で停止します。合わせたい時刻が午前の場合は、12時間以上移動させて現在時刻に合わせてください。
- ※合わせたい時刻の10分程度手前で一旦早回しを止めて、残りの数分を①SETボタンを1回ずつ押し針を進めると合わせやすいです。
- 手動設定が終了したら、③RECボタンを押す、または①SETボタンを放して30秒以上お待ちください。秒針が動き出し、通常の運針を始めます。
- ※手動で時刻を設定した場合、自動受信時間になると、電波を受信する状態になります。電波受信に成功した場合、自動的に時・分・秒針を現在時刻に合わせます。

自動電波受信機能について

本製品は、時刻を修正するために、毎日、内蔵プログラムにより自動電波受信を行います。(1時00分、3時00分、5時00分、13時00分、17時00分、21時00分)
電波を受信できない場合は、内蔵クォーツの精度で計時し、次の自動受信時間に再び電波受信を行います。

夜間秒針停止機能について

本製品は、内蔵プログラムにより、午後10時00分から午前6時00分までの間は、秒針が12時の位置で停止します。※夜間秒針停止中であっても自動受信のときは、秒針が動くことがあります。また時計・分針も通常運針以外の動きをする場合がありますが、故障ではありません。

リセット操作について

操作中に不明な点が出てきた場合は、②RESETボタンを押してください。設定されている内容が初期状態に戻ります。
時・分・秒針が早回りして12時の位置で停止し、再度4～12分間電波受信状態となります。
※②RESETボタンは伸ばしたクリップの先などで押して下さい。針などの鋭利なものを使用すると、ボタンが破損しますのでご注意ください。

静電気の影響

静電気の影響により、正常に動かなくなることがあります。このようなときには、リセット操作をしてください。

時計用電池の交換時期について

電池容量が少なくなると、秒針の進みが目に見えて遅くなります。自動電波受信のときは、針がぐるぐる回ります。このような場合は、すみやかに新しい電池と交換してください。

使用上の注意

- 品質には万全を期しておりますが、万一不具合や不明な点がございましたら、ご使用にならずに弊社マハシお客様相談室までお問い合わせください。
- 本品を**分解や改造をしたり、破損に対して応急処置をして使用することは危険**ですのでやめてください。
- 本製品は屋内用です。屋外や雨のかかる所、湿気の多い所などには設置しないでください。
- 台所や加湿器のそばなど、油煙や湯気の当る場所には置かないでください。火災の原因になることがあります。
- 温度が40℃以上になる所や長時間直射日光の当る所、暖房器具などの熱風や火気に近い場所では使用しないでください。
- 温度が0℃以下になる場所ではプラスチック部品や電池の劣化がおきることがあります。
- 付属の電池は、製造時に動作確認のため使用しているものです。製品仕様より短い期間で電池が切れたり、すでに電池量がなくなっている場合があります。
- 電池の残量が少なくなってくると、秒針の進みが目に見えて遅くなったり、秒針が上まで登りにくくなります。一年ごとを目安に新しい電池とお取替えください。
- 落下のおそれがありますので、危険な場所には取付けしないでください。
- 無理な力を加えないでください。衝撃により破損するおそれがあります。

お手入れ・保管について

- 汚れやほこりを拭き取る場合は、柔らかい布などでからぶきしてください。
- 静電気により、時計や掛けた壁面が汚れることがありますので、定期的に汚れを落としてください。
- 汚れがひどいときは水で薄めた台所用中性洗剤を柔らかい布に少量付けてふき取り、その後からぶきしてください。
- 熱湯・ベンジン・シンナー・アルコール・スプレー式クリーナーなどは使用しないでください。
- 長時間ご使用にならない場合は電池を取り出して保管してください。
- 本品は精密な電子部品で構成されておりますので、極端な温度条件下や強い磁気の当る場所、はげしい振動のある場所での使用及び保管は避けてください。